



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 サニックス

コード番号 4651 URL <http://sanix.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宗政 伸一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	15,690	△27.7	△1,332	—	△1,368	—	△1,754	—
27年3月期第1四半期	21,714	37.8	△1,129	—	△1,005	—	△1,222	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △1,695百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △1,208百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△36.70	—
27年3月期第1四半期	△25.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	41,293	5,635	13.6	117.26
27年3月期	49,120	7,331	14.9	152.74

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,605百万円 27年3月期 7,302百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
28年3月期	0.00	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	35,298	△19.8	△280	—	△350	—	△760	—
通期	78,000	△18.4	4,000	—	3,820	—	2,820	58.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	48,919,396 株	27年3月期	48,919,396 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,113,193 株	27年3月期	1,113,143 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	47,806,228 株	27年3月期1Q	47,735,265 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
5. 補足情報	11
部門別連結売上高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、企業業績の改善や雇用情勢の好転が見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。また一方で、円安に伴う原材料価格の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、太陽光発電システムに係る部材の開発から調達、販売、施工、メンテナンスまで一貫した事業を推進しております。太陽光発電を取り巻く事業環境は、平成27年1月に「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の運用見直しがなされ、出力制御ルールの変更などが行われました。当社グループは、これら制度変更による電力各社エリア毎における市場環境の動向に的確に対応するため、九州、四国地区の適正な人員体制を踏まえつつ、マーケットとして大きい東京電力、中部電力、関西電力管轄地区の体制を強化してまいりました。

また、中期的な太陽光発電を取り巻く事業環境に対処し、持続的な成長を図るために経営合理化を実施し、当第1四半期連結累計期間において609名の希望退職、20ヶ所の店舗統廃合等の施策を完了しました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、SE(ソーラーエンジニアリング)事業部門の太陽光発電システム施工について、東日本地区の増収幅が大きい一方で、出力制御ルール等の制度変更による影響が大きい九州地区や四国地区の減収幅が大きく、当該事業部門は減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は15,690百万円(前年同期比27.7%減)となりました。

利益面では、SE事業部門において、経営合理化等による経費削減効果が当第2四半期連結累計期間以降になることや、減収となったこと等により、営業損失となりました。この結果、グループ全体の損益は、1,332百万円の営業損失(前年同期は1,129百万円の営業損失)、1,368百万円の経常損失(前年同期は1,005百万円の経常損失)、また、希望退職者の募集に伴い発生した特別退職金等の一時的な費用284百万円を特別損失として計上したため、1,754百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同期は1,222百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当第1四半期連結累計期間の事業部門ごとの状況は次のとおりであります。

#### ①SE事業部門

「太陽光発電システム」が減収となりました。売上構成比が高かった九州、四国地区における減収幅が大きかったことが主因であります。この結果、売上高は10,043百万円(前年同期比35.8%減)となりました。

営業損益は、減収となったことに加え、経営合理化によるコスト減が当第1四半期連結累計期間においては小さかったこと等により、1,150百万円の営業損失(前年同期は930百万円の営業損失)となりました。

(ご参考 SE事業部門の人員在籍推移 平成27年3月末 2,288名 平成27年6月末 1,619名)

#### ②環境資源開発事業部門

「プラスチック燃料収入」は、廃プラスチック類の搬入量は微増となりましたが、受入単価低下により前年同期比8.3%減となりました。「売電収入」は、売電単価が低下したことにより、前年同期比11.5%減となりました。この結果、売上高は3,465百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

営業損益は、減収となったことを主因として、223百万円の営業利益(前年同期比40.5%減)となりました。

#### ③HS事業部門

主たる業務を「白蟻防除施工」や「床下・天井裏換気システム」等衛生管理関連のメンテナンスとしました。この結果、売上高は1,942百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

営業損益は、減収となったもののコスト改善により384百万円の営業利益(前年同期比16.5%増)となりました。

#### ④ES事業部門

主たる業務をビル・マンション等における衛生管理関連のメンテナンスとしました。この結果、売上高は237百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

営業損益は、減収となったもののコスト改善により11百万円の営業利益(前年同期は50百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は41,293百万円となり、前連結会計年度末比で7,827百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金が3,392百万円、受取手形及び売掛金が4,543百万円減少したためであります。負債合計は35,657百万円となり、前連結会計年度末比で6,132百万円減少しました。主な要因は、短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金、未払金が減少したためであります。純資産合計は5,635百万円となり、前連結会計年度末比で1,695百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失1,754百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末14.9%に対し、当第1四半期連結会計期間末は13.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において重要な営業損失、当期純損失を計上し、また当第1四半期連結累計期間においても営業損失を計上していることから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社グループは当該状況を解消すべく、SE事業部門における事業環境の急激な変化に適時適切に対応するため、九州、四国地区の適正な人員体制を踏まえつつ、マーケットとして大きい関東、関西、中京地区の体制を強化し、固定費全般の削減により収益構造の改善を図っております。

また、太陽光発電事業を取り巻く中期的な経営環境に対処するため、さらに踏み込んだ経営合理化を行うことが必須と判断し、当該事業部門において609名の希望退職、20ヶ所の店舗統廃合を6月末までに完了しました。

これらの対応策を実施することにより、今後の資金繰り計画を勘案した結果、資金面に重要な懸念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,026	3,634
受取手形及び売掛金	14,800	10,257
商品及び製品	504	875
未成工事支出金	1,738	1,606
原材料及び貯蔵品	8,043	8,053
その他	694	561
貸倒引当金	△1,237	△1,119
流動資産合計	31,569	23,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,533	2,464
機械装置及び運搬具(純額)	1,640	1,743
土地	9,399	9,399
その他(純額)	1,525	1,356
有形固定資産合計	15,099	14,965
無形固定資産		
のれん	401	373
その他	143	145
無形固定資産合計	545	519
投資その他の資産	1,906	1,940
固定資産合計	17,551	17,424
資産合計	49,120	41,293
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,537	12,051
短期借入金	6,360	9,273
未払金	4,408	3,184
未払法人税等	208	108
引当金	31	66
その他	6,013	5,061
流動負債合計	35,560	29,745
固定負債		
社債	10	10
長期借入金	3,045	2,750
役員退職慰労引当金	170	170
処分場閉鎖費用引当金	477	496
退職給付に係る負債	1,490	1,511
その他	1,034	972
固定負債合計	6,229	5,912
負債合計	41,789	35,657



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
資本剰余金	4	4
利益剰余金	△5,588	△7,343
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	6,976	5,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	203
為替換算調整勘定	184	202
退職給付に係る調整累計額	△30	△22
その他の包括利益累計額合計	325	383
非支配株主持分	29	29
純資産合計	7,331	5,635
負債純資産合計	49,120	41,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	21,714	15,690
売上原価	16,907	12,713
売上総利益	4,806	2,977
販売費及び一般管理費	5,935	4,309
営業損失(△)	△1,129	△1,332
営業外収益		
受取利息	1	16
受取配当金	5	7
受取地代家賃	18	17
為替差益	87	—
補助金収入	46	45
その他	30	25
営業外収益合計	190	110
営業外費用		
支払利息	50	50
支払手数料	4	4
為替差損	—	85
その他	12	6
営業外費用合計	66	146
経常損失(△)	△1,005	△1,368
特別損失		
早期希望退職関連費用	—	284
特別損失合計	—	284
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,005	△1,653
法人税、住民税及び事業税	116	100
法人税等調整額	101	△0
法人税等合計	217	100
四半期純損失(△)	△1,223	△1,753
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,222	△1,754

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,223	△1,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	31
為替換算調整勘定	△10	18
退職給付に係る調整額	8	7
その他の包括利益合計	15	57
四半期包括利益	△1,208	△1,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,207	△1,696
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S E 事業部門	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	15,635	2,064	273	3,741	21,714	—	21,714
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,635	2,064	273	3,741	21,714	—	21,714
セグメント利益 又は損失(△)	△930	330	△50	374	△275	△854	△1,129

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用854百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S E 事業部門	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,043	1,942	237	3,465	15,690	—	15,690
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,043	1,942	237	3,465	15,690	—	15,690
セグメント利益 又は損失(△)	△1,150	384	11	223	△530	△801	△1,332

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用801百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比べて、当第1四半期連結会計期間のS E 事業部門の資産の額が4,594百万円減少しております。

その主な理由は、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に比べて売上高が減少したことに伴い、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

5. 補足情報  
部門別連結売上高

(単位：百万円)

品 目	期 別	数 量 単 位	前第1四半期 連結累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年6月30日		比 較 増 減	
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
			太陽光発電システム	kW	56,901	13,438	33,997	8,078
太陽光発電システム卸販売	—	—	2,167	—	1,935	—	△232	
その他	—	—	29	—	29	—	0	
S E 事業部門計		—	—	15,635	—	10,043	—	△5,591
白蟻防除施工	千坪	135	752	148	810	13	58	
床下・天井裏換気システム	—	—	283	—	253	—	△30	
基礎補修・家屋補強工事	軒	309	145	255	125	△54	△20	
その他	—	—	882	—	753	—	△128	
H S 事業部門計		—	—	2,064	—	1,942	—	△121
防錆機器取付施工	本	7	25	3	10	△4	△14	
建物給排水補修施工	—	—	113	—	120	—	6	
建物防水塗装補修施工	—	—	25	—	13	—	△12	
その他	—	—	108	—	94	—	△14	
E S 事業部門計		—	—	273	—	237	—	△35
プラスチック燃料	t	93,291	1,903	93,774	1,717	483	△186	
売電収入	—	—	977	—	864	—	△112	
有機廃液処理	t	28,284	410	26,788	419	△1,496	9	
埋立処理	—	—	174	—	182	—	8	
その他	—	—	276	—	280	—	4	
環境資源開発事業部門計		—	—	3,741	—	3,465	—	△275
売上高計		—	—	21,714	—	15,690	—	△6,024